

# こどもと健康

NO・134 2013・4・12

## 風疹、じわじわ拡大中！

昨年秋から関東、関西を中心に風疹が流行しています。過去、風疹は数年ごとに流行を繰り返してきましたが、最近は大きな流行はありませんでした。はしか・風疹ワクチンは1歳児の1期に加え、2006年から就学前児（年長組）に対する2期接種が始まり、2008年からは中学1年生（3期）と高校3年生（4期）にも2回目を接種するようになりました。この3期と4期の接種は本年3月31日で終了しました。その結果、5年前には年間数万人が罹患した「はしか」は昨年には293例にまで減少しました。堺市でもここ3年半、「はしか」の患者さんは出ていません。所が、昨年秋から関西で成人男子を中心に風疹の流行が始まり、年が明けてから関東で、3月からは地方でも流行が拡大しています。風疹は2010年には全国で87例、2011年371例でしたが、昨年には2353例に急増、今年3月31日第13週までに2903例が報告されています。東京都が1182例と突出し、神奈川県416例、千葉県228例、大阪府223例と大都市周辺で流行しています。2903例のうち78.5%が男性でそのうち30歳代が38%、40歳代、20歳代がともに24%を占め、女性では20歳代が44%を占めます。これは1977年～1995年まで中学生女子のみを対象に風疹ワクチンが接種され、その後2003年までは男女ともに接種対象になりましたが接種率は低く、2回目のワクチンがされなかった影響が大きいようです。

風疹は小児がかかれば「三日ばしか」と言われるように、発疹と発熱、リンパ腺腫脹を訴えますが、一般的には軽症で時に、血小板減少性紫斑病や脳炎を合併します。成人が罹患すると高熱があつて発疹も強く関節痛を伴い長引く傾向があります。特に妊娠初期に罹りますと、胎児が先天性風疹症候群となり、先天性心疾患、難聴、白内障の他、発育遅延、小眼球等の奇形児が生まれます。妊娠1カ月に感染すると50%、2カ月で35%、3カ月で18%、4ヶ月で8%に先天性風疹症候群が発生すると言われます。先天性風疹症候群は2004年に10例の報告がありましたが、その後7年間で5例に過ぎませんでした。所が昨年秋から相次いで8例が報告され、うち2例が大阪府、2例が兵庫県でした。堺市でも昨年8月以降今年の4月8日までに堺市衛生研究所のウイルス検査で57例が風疹と確認され、やはり男子が74%と多く、20歳代、30歳代で男子の58%を占めています。一方、女子では20歳代が9例、60%と最多で、中に妊娠初期の方がおられ、先天性風疹症候群の可能性が懸念されています。全国へ流行が拡大するにつれ、先天性風疹症候群の児がもっと増加する恐れがあります。

予防にはワクチン接種しかありませんが、妊婦さんにワクチン接種はできませんので、ご主人始め同居家族が風疹ワクチンを受けるようにして下さい。妊娠する可能性のある女性は妊娠していない時期（生理中に）2回目の風疹ワクチン接種を受けましょう。2回接種しても心配な方は抗体検査で核にすることができます。はしか・風疹混合ワクチンの定期接種は1期が1歳児、2期が就学前1年間（年長組）ですので、忘れずに接種しましょう。

# インフルエンザの流行、ほぼ終息！

年が明けてから流行していたインフルエンザは感染症サーベイランスによると1月21日からの第4週には定点当り全国平均36.44と警報レベルの30を越えていましたが、4月1日からの第14週には大阪府で2.4、堺市2.6と減少しました。今年も昨年同様、3月になってB型が増加してインフルエンザの減少に歯止めがかかっていましたが、新学期が始まって一部にB型が残っているようですが、暖かくなりましたのでこのまま終息するものと思われます。

## 中国で鳥インフルエンザA（H7N9）発生

1997年香港で初めて報告された高病原性鳥インフルエンザA（H5N1）がその後アフリカや東南アジアで散発してヒトへの感染拡大が心配されてきました。昨年も2月23日から9月18日のおよそ半年間でバングラデシュ、カンボジア、香港、インドネシア、ベトナムで17名発病、うち10名が死亡したとWHOは報告していました。

所が、3月31日になって中国が鳥インフルエンザA（H7N9）に感染した患者が3人上海市等に発生したとWHOに報告しました。インフルエンザウイルスの多くは動物固有のウイルスで通常は種の壁を越えて感染することはないと言われています。鳥インフルエンザA（H7N9）ウイルスのヒトへの感染事例が世界で初めて報告されました。その後、4月9日の中国からWHOへの報告では確定患者は24人、このうち7人が死亡、14人が重症で3人は軽症でした。患者との接触者600人以上が経過観察されていますが、今の所、ヒト-ヒト感染は確認されておらず、鳥から直接感染したと思われます。WHOは診断と治療法の確立、ワクチン開発を精力的に進め、日本にも昨日ウイルスが届いたようです。抗ウイルス剤のタミフル、リレンザは有効と言われています。今日本では心配はいらないでしょうが、ゴールデンウィークに中国に旅行する人は鳥に直接接触ったり、病気の鳥や死んだ鳥に近づかないようにし、手洗いやうがい、咳エチケットに心がけて下さい。3年前の新型豚インフルエンザの二の舞にならないよう願っています。

## 予防接種法改正！

先の通常国会で予防接種法の一部改正案が成立し、4月1日から施行されました。一昨年から任意接種の公費負担とされたヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸癌予防ワクチンが定期接種化されました。子宮頸癌予防ワクチンは「パピローマウイルス」ワクチンとなり、接種対象が小学6年生から高校1年生に変更されました。子宮頸癌予防ワクチンの副反応が国会でも取り上げられ、現在調査中のようなようですが、今の所中止には至っていません。世界中100カ国以上で同じワクチンが接種されており、大きな問題にはなっていません。今後、水痘（みずぼうそう）ワクチン、ムンプス（おたふくかぜ）ワクチン、B型肝炎ワクチン、成人用肺炎球菌ワクチンが順次定期化されることが期待されています。日本の予防接種行政は諸外国から大きく遅れ、ワクチンギャップと言われてきましたが、その解消へ一歩前進です。

## 4月の休診のお知らせ

日本小児科学会総会出席のため、

4月19日（金） 午後休診

4月20日（土） 休診 させていただきます。

# かたぎり小児科ホームページ！

<http://www.katagiri-shounika.com/> 又は、「堺市 かたぎり小児科」で 検索。